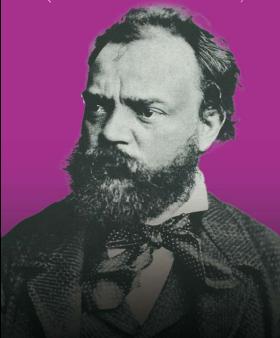


東京21世紀管弦楽団

名曲 コンサート

Vol. 1

オール
ドヴォルザーク
プログラム



アントニン・ドヴォルザーク
Antonín Dvořák
(1841~1904)



©BenjaminEalovega

篠崎靖男

指揮

Yasuo SHINOZAKI, conductor

桐朋学園大学卒業。1993年ペドロッティ国際指揮者コンクール最高位。ウィーン国立音楽大学で研鑽を積み、2000年シベリウス国際指揮者コンクールで第2位を受賞し、ヘルシンキ・フィルを指揮してヨーロッパにデビュー。2001年より2004年までロサンゼルス・フィルの副指揮者を務めた後ロンドンに本拠を移し、ロンドン・フィル、BBCフィル、フランクフルト放送響、ボーンマス響、フィンランド放送響、スウェーデン放送響、ドイツ・マグデブルク・フィル、南アフリカ共和国のKZNフィル、ヨハネスブルグ・フィル、ケープタウン・フィルなど、日本国内はもとより各国の主要オーケストラを指揮。2007年から2014年7月に勇退するまで7年半、フィンランド・キュミ・シンフォニアエッタの芸術監督・首席指揮者としてオーケストラの目覚しい発展を支え、2014年9月から2018年3月まで静岡響のミュージック・アドバイザーと常任指揮者を務めるなど、国内外で活躍を続けている。現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師(指揮専攻)として後進の指導にも当たっている。

オフィシャル・ホームページ

<http://www.yasuoshinozaki.com/>



©Hideki Shiozawa

伊藤悠貴

チェロ

Yuki ITO, cello

15歳で渡英。ブラームス国際コンクール第1位、ヴィンザー祝祭国際弦楽コンクール第1位、齋藤秀雄メモリアル基金賞など受賞歴多数。王立音楽大学在学中に名門フィルハーモニア管弦楽団と共に演奏デビュー。以来、ウイグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホール、シェレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、サントリーホールなど国際舞台でリサイタルや国内外の著名オーケストラと共に演奏を重ねる。世界的作曲家・指揮者ヨハン・デ・メイからの信頼も厚く、チェロと管弦楽のための委嘱・献呈作品『エレジー』とスケルツォ:ラフマニノフへのオマージュ』や、氏の代表作・チェロ協奏曲『カサノヴァ』を含むワールドワイド全集CD録音など多数共演。また、V.アシケナージ、J.ロイド・ウェバー、X.ドゥ・メストレ、S.ザハロワなどと共に演奏を重ね、定期的に渡邊智道(p)、中村愛(hp)と共に埋もれた名作に焦点を当てたりサイタルを企画する他、「センセーションナル」(The Strad, UK)、「極めて詩的」(The Ensemble, Germany)、「東洋人離れした音楽家」(American Record Guide)など欧米主要誌からも高く評価されている。2026年4月4日横浜みなとみらいホールにて、バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を開催予定。著書に学術単行本『ラフマニノフ考—チェロ奏者から見たその音楽像—』。

東京21世紀管弦楽団

Tokyo 21c Philharmonic

音楽を通して、多くの人々と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「新しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。浮ヶ谷孝夫(プランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる定期公演、自主公演は東京国際フォーラムホールC、東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホールなど都内の主要なホールで活動をしている。2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フローレス、ヴィットリオ・グリゴーロとの共演。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年6月、第18回ショパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲の夕べ、同年8月東京国際フォーラムホールAでのミュージカル『ラ・ラ・ランド』6回公演、11月オーチャードホールで「BBC PROMS」に出演し好評を博した。12月東京芸術劇場にて「第九」公演は多くの聴衆から高く評価された。2023年1月「ホセ・カラース&ブラシド・ドミンゴ」コンサートに出演し好評を博すなど、その活動の場を広げている。



Tokyo 21c Philharmonic